

ボランティアグループ活動紹介

対面朗読"90"

- ★ 発 足 1990（平成2）年4月
- ★ 会 員 数 6名
- ★ 活動場所 中区地域福祉センター
- ★ 活動日時 随時



対面朗読"90"は、視覚障がいの方のノーマライゼーション活動を目的に発足しました。毎月の活動日には、グループのメンバーと視覚障がい者の方、ガイドヘルパーの方を含め15名前後の方が集まります。対面朗読の活動では、グループのメンバーが「面白い!」と感じた書籍や文章を朗読する活動をしています。健康、スポーツ、エッセイ…紹介する様々な本のなかで、「もっと聞きたい!」という声があれば、続きを読んでいます。毎回どの本をおすすめするかが悩みどころです…。

また、年に2回程度、外出の援助をしています。広島県内をはじめ、山口県光市の冠梅園や、岡山県湯郷のオルゴール夢館など、希望に応じてさまざまな場所に出かけています。

お知らせ

平成25年度 ボランティア連絡会「研修会」 防災訓練@広島市総合防災センター

【日時】 平成26年3月3日(月)
9:00~13:00(予定)

【参加費】 無料

安佐北区倉掛の広島市総合防災センターにてボランティア研修会を実施します!今年度のテーマは「防災訓練」。火事が起きた時、地震が起きた時のとっさの行動を、体験を交えながら学びましょう!



※注※ 中区登録のボランティアグループ、および登録個人ボランティアの方を対象とした研修です!

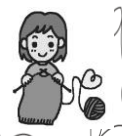
コーディネーターのつばき...

初めてのボランティアまつりも無事に終わり、ずいぶん寒くなってきました…。初めての広島の冬!みかんと牡蠣が楽しみです。



南相馬市へ あったか毛糸の 贈り物をお届け!

昨年に引き続き、視覚障がいのある方から、ご自身で編まれた手編みの帽子の寄贈がありました。その数なんと54個!!思いの詰まったあたたかい帽子は大切にお預かりし、12月に実施される広島市社会福祉協議会のボランティアバスで、福島県南相馬市にお届けする予定です。



中区ボランティアだより

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会 中区ボランティアセンター
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
TEL (082)249-3114 FAX (082)242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp
ホームページ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/

2013年

11月号



ボランティア広場

活動の様子をちょこっと紹介します♪



お兄さん・お姉さんとして、学生のボランティアさんが活躍しています!

児童館でのボール遊びや、障がいのある子どもたちとレクリエーションをして、楽しい時間を過ごしています! "どんなクイズを出そう?" "どうやって遊ぼう?" とミーティングをしながら、若いボランティアが一歩懸命考えて取り組みをされています(^v^)



行きのバスは大盛り上がり★



【ボランティア広場 第4回】
平成25年11月9日(土)
土曜教室の子どもたちと、

こんにやく作り体験♪



湯来交流体験センターへ、こんにやく作り体験のバスハイクが開催されました。行きのバスの中では、学生ボランティアの考えたレクリエーションをみんなで楽しみました♪センターに到着後、こんにやく作り名人の指導のもと、4つの



グループに分かれて子ども達とわいわい楽しみながら初めてのこんにやく作り体験をしました!体験後は、自分で作ったこんにやくをみんなで食べて、大満足★子どもたちの笑顔が見られて、学生ボランティアのみなさんからも笑顔が見られました。お疲れ様でした♪



次回以降のボランティア広場は・・・

- 【第6回】12月21日(土) 土曜教室の子どもたちとクリスマス会
- 【第7回】1月11日(土) 土曜教室の子どもたちともちつき
- 【第8回】2月15日(土) 活動を振り返ってみよう!

○申 込: 電話またはFAX、Eメールにてお申し込みください

(Eメールでお申し込みの際には、件名に「ボランティア広場」と記入してください)

中区社会福祉協議会/ボランティアセンター TEL 082-249-3114 FAX 082-242-1956

Eメール naka@syakyohiroshima-city.or.jp


★ 対 象 ★
中学生・高校生・専門学生・
大学生等の25歳までの方



第17回なかくボランティアまつり 報告

2013. 10. 26. Sat


★ステージ発表★



なかくボランティアまつりの見所の一つであるステージ発表は、中区で活動されている方を中心に構成されています。今年のステージも、獅子舞あり銭太鼓あり作業所メンバーの歌や踊りありと盛りだくさん。中でも、ボランティアグループの「手話サークルあすなろ」の手話による民話「おこりじぞう」は、原爆について考えさせられる内容で、会場内が感動に包まれました。


ステージ発表のラストは、中途視覚障害者オーロラの会と参加者によるフォークダンス♪会場全体が一つにまとまることができ、笑顔の中でステージを締めくくっていただきました。

★作業所体験交流コーナー・販売コーナー★




4階の作業所体験交流コーナーは、中区の作業所「パンダハウス」による押し花の葉書づくりと、「作業所わくわく」によるビーズストラップづくりの体験をする方で賑わいました♪

1階の販売コーナーでは上記作業所のほか、中区の作業所「あおぎり」「もみじ作業所」「アイラブ作業所」「カーブクラブ」による展示販売があり、来場者が興味深そうに商品を眺めていました。



作業所手作りのおいしいクッキーや、かわいい記念品が、来場者にプレゼントされました♪




▲かわいい作品がいっぱい♪

平成25年10月26日(土) 10:00~14:30にて、台風一過の青空の下、「第17回なかくボランティアまつり」を開催しました！会場である中区地域福祉センターに 総勢540名もの方にお越しいただき、盛況のうち無事に終えることができました。今年も多くの方からバザー物品の提供をいただきました。ご協力いただき感謝申し上げます。また、前日準備や当日と、参加いただいた方、ご協力いただきました 皆様、ありがとうございました。ほんの一部ですが、今年のボランティアまつりをご紹介します！

★福祉体験コーナー&スタンプラリー★

福祉体験コーナーでは、「点訳」「手話」「音訳」「要約筆記」「アイマスク」「高齢者疑似」「車いす」と、7つの体験が用意され、延べ227名の方が、知らなかった福祉機材などに触れたり、実際に使ってみたりという体験をされました。体験後、「お年寄りの視界の狭さや関節の動きにくさを知った。これからは町で困っているのをみかけたら声をかけたい」という感想や、「身近なところに障がいがある方向への識別マークや表示があるのを知った」などの感想がありました。このような場を通じて、より多くの方に福祉の世界を知っていただけたらと思います。



7つの福祉体験のうち3つ以上の体験をされ、チャレンジカードのスタンプを集めた方は、4階のあそびのコーナーで輪投げを体験されました。あそびのコーナーでは、学生の方をはじめとする若いボランティアを中心に、楽しそうな来場者の笑い声が溢れていました。

▲なかちゃんも参加♪

▲ボランティアの方のイラストをもとに作成したチャレンジカード。子どもから大人まで真剣に体験されていました！！

今回も、広島市視覚障害者情報センターのご協力により、視覚障がい者用日常生活用具の展示を行いました。普段触れることのない福祉の便利グッズの数々が並び、多くの方が足を止めて見学されていました。

～え～！手触りの違いでオセロの白と黒の面を見分けてるんだ！▲

バザーコーナー・軽食喫茶コーナー

今年も、バザーコーナー、軽食喫茶コーナーは大盛況！バザー開始の11時前から多くの来場者が行列を作っていました。軽食喫茶コーナーでは、ひとやすみをされる方で終始にぎわい、お弁当やサンドイッチも完売しました！！

なかくボランティアまつりでは、「なかくボランティアまつり実行委員会」を中心に、ボランティア連絡会、作業所のメンバー・職員、地域の方など100名以上の方に運営などのご協力をいただいております。まつりを通して得た収益は、中区のボランティア活動などで大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。